

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援すびーる		公表日 2024年 11月 29日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・個別療育ではこども1名に対して職員2名以上、集団療育ではこども1名に対して職員1名を配置している ・こども1名に対し、介助の職員が1名ついている こどもの状態によって職員が1名以上つくこどももある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・階段にはこどもの身体の高さに合わせた手すりを設置している ・階段の昇降には必ず職員が付き添うようにしている ・トイレも職員もしくは保護者が付き添うようにしている ・療育室が2階で建物の構造上階段しかありませんが2階は広くシンプルで使用しやすいと思います	・療育室が2階で階段が急なため今後も必ず職員が付き添うようにする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・療育時間毎(1時間に1回)に消毒、清掃をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・仕切り等があり、臨機応変に対応できている ・パーテーション等で個別の空間を提供している ・可動式ロッカーなどで区切るなど工夫をしている	・部屋数が少ない為療育課題に応じた空間利用に努める
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5		・こどもの課題や関わり方について日々話したり相談できる環境である	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・自己評価の結果を回覧し確認している	・自己評価の結果をうけ、改善すべき点は都度改善策を講じるよう努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員全員で都度意見交換しながら改善している ・日々の話し合い、必要に応じて空き時間を利用し職員の話聞いてくれ、日々改善につなげてくれている	・今後も職員が互いに意見を出し合えるような環境を整えていけるよう努めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・外部評価は実施していないが日々の業務の中で職員の意見を参考に業務改善に努めている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・定期的にこどもの状態に応じた支援方法などを振り返る研修の時間を設けている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5		・こどもの視線や表情など細かい部分も見逃さずに様々な視点からアセスメントを行っている ・保護者同伴のため日常的にニーズや課題について聞きとり、フィードバックができていると思う	・今後も保護者のニーズに添い、支援内容にとりいれていけるよう丁寧な聞き取りを行っていく
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々の打ち合わせなどでこどもの課題や支援方法を話し合い、共通理解を深めている	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・各こどもの個別ファイルに計画書もまとめてあり、いつでも確認できるようになっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・療育中のこどもの様子を見ながら確認している	・現在標準化されたツールは使用していないが、こどもの行動分析を丁寧に行い職員間で共有していき、必要に応じて検討していく
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・保護者にも理解しやすいよう具体的な支援内容の記載と説明を行うようにしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・サーキット等の設定や療育の進め方など、相談・改善しながら決めることができている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動が固定化しないよう多種多様なプログラムを組むようにしている ・机上課題や運動課題などを織り交ぜながら策定し、1つの遊びでもこどもの状態に合わせてやり方を変えながら実施している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・午前・午後の療育前に必ず全員で実施している ・午前と午後の療育開始前に必ず打ち合わせを行っている。こどもの状態によって支援内容を変えるときも、職員同士で相談しながら進めている ・午前と午後の療育前に必ず全員でプログラムの確認と、こどもの情報交換などを行っています	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーと介助の職員で振り返りを行い、支援方法がわからないときは他の職員も共有・助言をもらえる環境にある</li> <li>・その都度や、いつでも振り返りや次回に向けて相談できる環境にあり、個人的にとっても助かっています</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育に入る時間・記録を書く時間など、各職員ごとの1日のスケジュールを作成し、支援の検証、改善につなげる時間を確保している</li> <li>・記録や検証を行う時間を確実に作ってもらっている</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同伴療育のため、日々の保護者とのお話の中で必要に応じて判断している</li> <li>・半年に1回児童発達支援管理責任者が行っている</li> </ul>	
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。				
	25	<b>【放デイのみ】</b> 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者2名のどちらかが必ず参画し、経過や結果についての報告を他職員にも行っている</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体勢を整え、実際に関係機関と連携している</li> </ul>	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターから移行してきてつながったこどもの助言などを受ける機会がもてるよう連携している</li> </ul>	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子同伴療育のため毎回お子さんの様子や課題についての説明を実施している</li> <li>・療育中や終了後に保護者と一緒に振り返りをするよう務めている</li> </ul>	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育中の様子を元に家でもできることを随時提案している</li> <li>・外部研修情報を掲示している</li> <li>・研修情報は保護者の目が届きやすいところに掲示している。保護者に対し、日々の面談等で家での実践方法などを助言している</li> </ul>	
	32	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通じて児童発達支援計画の園への提出や、園の個別の保育指導計画の確認を実施している。必要に応じて電話や面談などで支援内容の情報共有や相互理解を図っている</li> <li>・保護者の希望に応じて行っている</li> </ul>	
	33	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や移行先施設からの要望がある場合に実施している</li> </ul>	
	34	<b>【児発センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<b>【児発センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<b>【児発センターのみ】</b> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<b>【放デイのみ】</b> 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。				
	38	<b>【放デイのみ】</b> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	<b>【放デイのみ】</b> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	<b>【放デイのみ】</b> (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
		41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回利用契約時に代表者が行っている</li> </ul>
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育毎の保護者との話の中で困っていることや意向などを確認するようにしている</li> <li>・毎回保護者と話をする時間をもち、日々の面談やモニタリングの聞き取りでも確認をしている</li> </ul>	

保護者への説明等	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・半年に1回児童発達支援管理責任者が個別に面談を行い、説明の上同意のサインをもらっている	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・個別療育時は最低でも職員は2名配置しているため随時相談に乗る体制を整えている ・日々の療育中に行っている。家での対応方法を助言した上で次に来所した時にどうだったか確認するなど、次につながる支援をしている	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・集団療育内で職員も介入しながら保護者同士の交流や意見交換の場を設けている ・保護者会はないが、グループ療育時に保護者同士で情報交換、相談しあえる機会を設けている ・グループ療育中に保護者同士で情報交換できる場が設けられています。先輩保護者から学校の現状をお聞きする機会もあり好評でした	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情窓口を整備している。初回契約時に書面を読み合わせし説明している	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・必要に応じて一斉メールでのお知らせのみ実施している ・活動概要や行事(避難訓練など)の情報は保護者同伴のため直接お伝えしている	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・施錠して管理している	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・各々の性格や特性に応じた関わりをするよう努めている ・こども、保護者1人1人へ配慮し、職員間で共有している	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
	51	<b>【放デイのみ】</b> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・利用者には初回利用契約時に重要書類として各種マニュアルをお渡しし、職員にはいつでも閲覧できるようファイル保管している ・いつでもマニュアルを確認できるようになっている ・年1回避難訓練(火災・地震)を実施している ・年度の前半に職員間でマニュアルの確認をしている	
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・計画はいつでも確認できるようになっている ・年1回避難訓練(火災・地震)も実施している	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・全員初回利用契約時にお渡しするプロフィール票に記入してもらい確認している ・年1回保護者にプロフィール票に記入してもらい確認している	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・年1回研修を行っている	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・初回利用契約時に書面読み合わせしお渡ししている ・初回利用契約時に説明し、重要書類としてまとめてお渡ししている	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット報告書の記入・回覧をして、話し合いを実施している ・都度話し合い、共有している	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年1回研修を行っている	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・保護者同伴での療育のため身体拘束をすることはないため計画書にも記載していない ・身体拘束の必要がない ・保護者同伴施設で身体拘束が必要なく、記載していない ・これまで対象となるこどもがいませんでしたが必要な時には十分に説明できると思われます		